

## 広報広聴常任委員会記録

日 時 令和3年11月8日（月曜日）10時00分～11時20分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、金木副委員長、小寺委員、舟見委員、工藤委員、森議長  
ワザハバー 平山議員、船本議員、逢坂議員、村田議員

事務局 豊島事務局長、嶋元係長

阿部委員長

それでは、時間となりましたので、ただいまから広報広聴常任委員会を開催いたします。

本日の議題は、議会広報広聴に関することについてを議題といたします。中身については、1つ目がインターネット（動画）配信の予算要求について、2つ目が議会意見箱（案）の設置について、3つ目が議会による町民アンケートについてを議題といたします。

### 1 議会広報広聴に関することについて

#### （1）インターネット（動画）配信の予算要求について

阿部委員長 10:00～10:02

それでは、早速進めていきたいと思います。まず、1つ目のインターネット（動画）配信の予算要求について協議していきたいと思います。

令和4年度予算要求については、12月1日締切りとなっています。まず、①の令和3年度、前年度の予算要求額、これについては50万8,000円（議場等機器整備事業）という形で予算要求しています。結果については、皆さん御存じのとおり、予算はついていない状況となっております。

次に、②の令和4年度予算要求額については、現在のところ令和3年度予算要求額と同等の金額になる予定で進めています。これについては、機材の変更がない場合は前年度の予算要求額と同等になる予定です。

まず、委員の皆さんには、広報広聴常任委員会として令和4年度の予算要求することによってどのように考えているのか、それでいいのかどうか、まずお聞きしたいと思いますので、皆さんのほうから意見出していただければと思います。まず、予算を出すという、予算要求することについて、これまで議会の総意という形でインターネットの整備に係る予算を要求していましたので、僕としても令和4年度も予算要求をして

いきたいという思いもありますので、ここで下げてしまったら、では今まで何だったのだということになりますので、ぜひ皆さんのほうからもこれについて意見出していただければと思います。どうですか。出すということで……

－主な協議内容等（質疑）－ 10:02～10:14

工藤委員 前年度は、予算要求がのらなかつたということなのですけれども、インターネット配信については時代背景のこともありますので、そのことによつて今まで例えば紙媒体で見ない方にも状況が見えやすいということもありますので、再度予算要求をするべきだと思います。  
以上です。

阿部委員長 ほかどうですか。今工藤委員のほうから予算要求すべきだという声がありましたので、そのように……

舟見委員 僕も同じで、予算要求はやっぱり、去年の予算要求が認められなかつたからといって今年もだから諦めるのではなくて、また今年もやっぱり予算要求をするべきだと思います。

金木副委員長 私も結論はそうですけれども、我々の議会の任期としては来年度は3年目になるのですが、今の駒井町長の任期から考えれば最終年度になるのです。ということで、最後までまた要求をして、この間小寺議員も一般質問等取り組んできていることですから、それでいてもう要求しないというのもおかしなことになるかと思うので、要求は続けて来年度もするべきだという考えです。

小寺委員 自分は、予算要求はしてもいいのですけれども、ただ予算要求をするのが今目的になっているのではないかなというふうに考えていて、いかに実現させるかでこの3年間やってきたと思うのです、皆さんが。それで、当初予算を上げてもう4度目ぐらい予算が確定というか、しないことが多くて、その都度毎年見直しを行つて、例えば予算額が高過ぎると、なるべく安く、安くということで、例えば編集についても外部委託の予算も以前は見積りを出して編集作業1回してもらつたと幾らとか、それまで

出したのですけれども、それも全部削って、削ってなるべく安く、なるべく通るような形で申請した経緯があると思うのです。ただ、自分も一般質問等で聞いたりですとか、あとは昨年ですと行政側と交渉というか、検討する会をつくる会合開いたりとかしたのですけれども、全く予算には反映されていないのが状況なので、どうしたら予算要求することではなくて、それが実現するかということも考えていかなければいけないのではないかなというふうに思います。昨年もその前もですけれども、全員の議員の総意をもって交渉というか、予算要求したのですけれども、それがかなわなかったと。今年も同じような形で持っていったとしても行政側、特に町長の意見が変わらなければ、ただ上げただけで、議会側の建前というか、それだけで、去年出したのに今年には出さないとかではなくて、自分としては本当に全議員も含めて本気でそれが必要なのだというふうな形を見せないと、上げて、やっぱり来年も駄目でしたねというふうになりかねないかなというふうに思います。だから、いかに本当に真剣に全議員が、極論ですけれども、本当に予算の議決権を使いながら交渉するとか、そこまでしないとなかなか、また出てきたけれども、はい、必要ありません、議会としては全員が必要だと思って提出しているのですけれども、なかなかその辺りがきちんと受け入れられていないというか、あまりいい言葉ではないけれども、甘く、議会を軽く見られているというか、その辺がとっても気になる点ではあります。だから、上げること自体はいいのですけれども、本当に議会としてこれを入れないとというような強い気持ちでいくのであれば出す必要があると思いますけれども、来年もつかなくても、ああ、つかなかったねというような軽い、軽くはないと思うのですけれども、諦めムードで出すのだったら、そこは慎重にしたほうがいいのではないかなというふうには自分は考えています。

阿部委員長 結論からいうと、意見のそれでいうと出さない……

小寺委員 全議員が本気で取り組むのであれば出すべきですけれども、去年出したから今年は引くとか、予算化されなくてもしょうがないかというぐらいの気持ちで出すのだったら、慎重にしたほうがいいというふうに思います。だから、交渉なのか、きっとこれから議会改革の話も出てきてタブ

レットですとか、いろんな予算を議会として出すときにきちんと必ずどっちかを採用してぐらいの交渉ですとか、修正かけていきますよぐらいの意気込みが皆さんにあるのか、それとあと先ほども編集の話もしましたけれども、編集は予算を抑えるために議員でやりますよというところで話してきたのですけれども、そういう予算もきちんと盛り込むのか、本当に議員で、うちが担当するのか全員で担当するかも決まっていなくて、途中で予算だけ上げて編集できませんでしたということがないようにしたほうがいいのではないかなど。だから、必要な経費はきちっと盛って、町長の話だと議場でもし撮影する場合の人も出さないかもしれないという話もしているので、例えば業者に頼むのか、人件費をのせるだとか、その辺をもう少し現実的な金額で交渉というか、予算化したらいいのではないかなというふうに思います。

阿部委員長 今日委員会開いたのは、広報広聴常任委員会として予算を要求するかどうかという部分で、最終的に広報広聴だけで話を済ませるということではなくて、やっぱり最後は全議員に広報広聴常任委員会として次年度は予算要求したいということで当然上げていきますので、小寺委員のあれでいくと、また再度全議員に確認して、やり方というか、ではこの予算額でいいのかどうかという部分も全議員のほうで決めるということなのか。

小寺委員 まずは、今委員会中ですので、この委員会、私を抜いた皆さんが予算要求はすべきだということでおっしゃったので、多数決というか、反対しているわけではないですけれども、皆さん予算要求したいのだというのは分かったのですけれども、ただ昨年と同じ状況で出した場合に予算化されれば、もちろんそれはいいですし、予算化された場合のことも考えて皆さん、うちらがやるかどうか分からないですけれども、編集を含めてやるということと、あと予算化されなくても、ああ、残念だったねと終わるのか、それともうちの委員会として予算化されるようにできることって何かありますかという問いかけでもあるのですけれども、僕の認識だとこのまんま去年どおりの予算を上げてもなかなか予算化されるのは難しいのではないかなというふうに思うのですけれども、その辺の皆さんの認識はどうか、委員の方。

阿部委員長 今小寺委員のほうからご意見が……

工藤委員 小寺さんの意見を聞くと、例えば予算化された場合、この予算額でやると編集その他も我々でやっていくのだということになるということでしょう。そうなった場合には、皆さんできるのかという問いかけだと思うのだ。そういうふうになると、小寺さんはそういう部分がよく分かるからできると思うのですけれども、やっぱり僕なんかはできないと思うのです。ですから、そのやり方、進める段階でやっぱり知っている人が教えていってやっていくのだよという、そういうものがなかったら僕はできないと思うのです。もっとスムーズにいくのは、やはり行政側のお手伝いもいただいてやっていかないとできないのだろうなと僕は思います。だから、今話せるとしたら、その部分しか僕は話せないですけれども。

阿部委員長 暫時休憩します。

(休憩 10:14～10:36)

阿部委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。  
令和4年度予算要求については、広報広聴常任委員会として昨年度同等の金額で予算要求していきたいとしますので、それでよろしいですか。  
(はい。の声) また、全議員も含めてといった声もありましたので、そちらについては議員協議会のほうである程度決めていただけるのかなと思いますので、まずは広報広聴常任委員会としては次年度も予算要求するということしていきたいとしますので、よろしく願いいたします。  
ほかインターネット(動画)配信について何かご意見は。(なし。の声)  
なければ、(2)のほうに進みたいと思います。

## (2) 議会意見箱(案)の設置について

阿部委員長 10:36～10:39

それでは、(2)の議会意見箱(案)の設置についてを協議していきたいとします。これについては、前回の委員会の中でも触れましたけれども、町民が気軽に意見、要望等を議会に伝える方法として議会意見箱の設置について協議したいと思います。前回も

ちらっともしかしたら言ったかなとは思うのですが、町民のほうから（3）にありますけれども、町民アンケートだけではなくて何か気軽に簡単に議会に対して意見等が言えればいいのだよなというような話がありまして、前回こういった声がありますので、どうですかということで協議していただいた経緯があります。そのときにいろいろと委員の皆さんからも意見がありまして、では記名方式、無記名、どっちがいいのだとか、出てきた意見、要望等についてどういった回答ができるのだといったこともありましたので、そのときには一応今後の広聴活動として調査研究をしていくということで閉めています。どうですか、こういったことを新たに取組んだほうがいいのかどうか、委員の皆さんから意見を聞きたいと思っておりますので、お願いいたします。

－主な協議内容等（質疑）－ 10:39～10:59

小寺委員 以前も編集の委員会的时候に、議事録は残っていないのですが、いろいろな話をしたと思うのですが、設置することは可能だと思います。ただ、設置して、その意見の取扱いについてはきちんと決めないと、町民の方の一方的な要望、意見を受け取るだけでいいのか、それに対してどういうふうに戻すかというところが解決できればすぐにでもというか、ルールづくりは必要だと思うのですが、設置することは可能だと思います。あとは、例えば細かいことでいえば記名なのか無記名なのか、あと広報紙を通じて全て発表するのか、それとも必要なものを発表するのか、その辺がクリアできれば広く広聴するという機会を設けるのはいいことだと思っています。

工藤委員 前回、去年ですか、アンケートやったときから思っているのですが、議会に対していろんな町民の意見を前回もいただいたのですが、それをどうするかという結果を出せるというのがなかなか難しいのだなというのは僕実感として思うのですが、本来であればこういう意見があるということを、そのときは町長のほうまで意見書もお渡ししたと思うのですが、結果としてそういうものが町民の意見に応える段階まで行けるのかどうかというのは僕ちょっと今の状況でいくと疑問だなと思います。せっかく意見をいただいているのにもかかわらず、その件に対してはこんな対応をしますとか、あるいは全てのことはできませんけれども、この程度のことやりますとかという、やはり

100%応えることは難しいのだろうけれども、何かしらのものをできない限りはあまりやっても効果がないのではないかという思いもあります。実際に強い要望がある町民については、口頭でも皆さんそれぞれのところに言ってきていると思いますし、むしろ僕の思いとしては行政側が町民アンケートをして、そして行政側の年間の執行をする上でその意見を取り入れて町民に戻していくのだという、そういうことをやはり行政側としてやればもっとスムーズに行くのだろうと思うけれども、そういうことも今現在では行政側はやっていないし、その辺ももっと行政側がやればいいのになど僕は思いますけれども、だからこの意見箱にしてもアンケートにしてもあまり町民に対して要望がかなえられるようなことが議会としてできないのであれば、僕はやっても意味ないなというふうに思っています。

金木副委員長    どこか管内でやっていたのだったか。留萌市議会でやっていたのだったか。

阿部委員長    前回資料で配付していますけれども、留萌市議会さんのほうは試験運用という形で令和2年の12月1日から令和3年11月30日まで留萌市議会の議会意見箱という形でやっています。一応その中にあるものを読むと、今工藤委員おっしゃったような部分でいきますと、市の行政に対するご意見、ご要望等については担当部署へ直接ご連絡いただくか市の設置する意見箱をご利用くださいといった形になっていました。小寺委員も出していただきましたが、連絡先の記載のないもの、もしくは営利を目的としたもの、または誹謗中傷等不適切なものは回答しませんであったりとか、そういった形で一応ルールも決められながらやって、今試験運用中ということで、工藤委員もありましたけれども、難しいのは行政に対しての意見、要望に議会が回答するというのは難しい部分もありますし、では議会だけの意見、要望となってくるとなかなか町民の皆さんも意見としてその辺がごっちゃになってしまうので、難しい部分もあるのかなと思いますので、やるのはいろいろと難しい部分も出てくるのかなとは個人的には思います。

金木副委員長 私は、今まで取り組んでやったことはないことですし、やる意義はあると思うのです。町民にしてもいろんな考えや要望やら議会に対して言いたいことも思っている人もいるわけだから、それを常時投書箱みたいのがあって投書をしてもらうということはそれなりの意義もあると。ただ、行政に対して言うべき問題を議会にとということ、そういう考えもあるのだけれども、町民はやっぱり行政側に直接は言いづらいと、議員ならばふだんそばにいるという身近な格好で議員なら言えるという人もいます。よくそれは直接言ったらどうと言ったら、いや、私はなかなか行けないのだわという声もいろいろ聞くようなときもあるので、それはそれでいいと思うのです。議会として一応聞いて必要な措置を議会側から発信していけば、議員個人として要求するのもいいし、議会全体で諮って要望項目みたいにして出していくこともあるかもしれないし、それからそんなに予算のかかることではないのかなと思うし、留萌のように試験的に1年間なら1年間やってみてさっぱり入らなかったといたら取りやめることもあるだろうし、ちょっと具体化してみるのは意義があるのではないかなと私は思います。

阿部委員長 試験的にやるのも含めて今後さらに協議なり、調査研究していく……どうですか。小寺さんは、ルールづくりをしながら……

小寺委員 今留萌市議会の意見箱のページをちょっと見ているのですけれども、留萌市議会はいくまでも議会に対しての気づきや疑問、改善すべきこと、議会に対してなのです。だから、町のどこどこがどうだとか、そういうのではないと。あくまでも議会の運営ですとか、議員なのか、そういうことに対しての意見箱なのです、留萌がやっているのは。それで、そこに書いてあるのは、市の行政に対する意見、要望については担当部署に直接連絡をいただくか、市長への意見箱というのが、また行政向けの意見箱というのがあるので、そちらに入れてくださいと。あくまでも議会の意見箱は、議会に対して何々してくれとかではなくて、議会がもっとこうしなさいとか、そういうものなので、きちんとすみ分けはしているみたいです。だから、例えば回答も必要とか必要ではないというチェックする用紙が、ちゃんと決められた用紙があるのですけれども、あくまでも議会の改善ですとか、そういうことなので、議会で答えることがで



きると、常任委員会なのか特別委員会なのか分からないですけども。ただ、市の行政側のことに対してうちら言えないのです。だから、その場合は、市のほうに入れてくださいというふうなすみ分けをして運営していたようです。なので、なかなか行政に言えないから、そこに入れたいわというので入れるのもオーケーにするのか、その辺も意見箱の種類というか、自分はあまりそこを考えていなかったんですけども、ただ先ほどのお話聞いていても行政に関わることにしましてはなかなか伝えることはできるけれども、回答することってできないです。ただ、議会に対しての話だと、議会で話し合っている程度回答することとか、ホームページだとか広報で言うことはできるんですけども、その辺のすみ分けも議会の意見箱として議会に対する、議会活動に対する箱だったらつくりやすいのではないかなと思うんですけども、だから行政全般何でもどうぞというふうにするのだと回答も含めて、対応も含めてちょっと難しいのではないかなというふうに思います。

阿部委員長 議会に対しての意見、要望だったら可能だけれども、やはり行政全般含めてとなると……

小寺委員 ただ、町民の方からすると、その辺一緒です。だから、行政側と相談して町長への質問、意見箱と議会の意見箱を例えば並列するなり、そういう提案も含めて、町民の人は行政のことだったらこっち、要望、意見だったらこっち、そして議会の委員会の活動がどうだとか、そういうことについてはこっちというすみ分けができたりすればつくりやすいかなと思うんですけども。

阿部委員長 今小寺委員のほうからそういった話もありました。行政に対しての意見、要望というのは、なかなか議会のほうでも答えづらいという部分は確かにあるのかなとは思いますが、前回の委員会の中で意見箱の設置について話をした中で意見交換会等に出れない人、そういった方たちもいるから、そういった方たちの何か意見、要望言える場が必要ではないのかといった意見もあったのかなと思います。意見交換会についても議会のことだけではなくて、町政、町行政全般のことを話し合ったりとか、具体的に子育て世代であったり、商店主、商工業者といったところとの意見

交換会していたこともありましたが、当然そういった方たちから出していただいた意見というのは、ではそのときに何も回答できないから、それでいいのかということではなくて、やっぱり委員会活動であったり、個々の議員活動として一般質問だったり、直接担当課に話に行くといったことも当然されているかと思しますので、この部分、非常に難しい部分、小寺委員おっしゃるように難しいところもあるのですけれども、やっぱり町民としてみれば議会だけではなくて行政の取組についてもいろいろと意見、要望等言いたい部分もあるのかなと思いますので、そういった部分も含めて今後どうするかというのをまだまだ調査研究していくべきなのかなとは思いますが、その辺ほかどうですか、意見としては。今ここでやるやらないというのを決めるというよりも、引き続き調査していくのか、どうするかというのを含めて、舟見委員、どうですか。

舟見委員 意見箱については、本当に留萌市議会のようにきちっと限定してやる部分については試験運用ということでやるのはいいと思うのですが、さっき言われたとおり一般町民の方は恐らく行政とか、要望とか何かもいろいろと入ってくると思うのです。だから、その辺の整理をした上で意見箱をどうするかということにしないと、なかなかやりますと言ってしまっても混乱してしまうような気がいたしますので、僕としてはだからもしやるのであれば留萌市議会さんがやられたように試験運用ということで、あくまでも議会に対する要望ですとか改善点のことだけに限定されたほうがいいかなと思います。

以上です。

森 議長 やるやらないについては、いつも感じることでけれども、前回やると決めたのでなかったかなという、具体的なことを今日決めるという話だったのかなと思っていました。一からの話になっているので、それはそれで日にちもたっているからいいかなと思います。ちょっと気になったのは、工藤委員の発言の中で議会議員に言われても何も実現できないのだからやる意味がないという、そういう根拠になってしまうと羽幌町議会の存在意義そのものが問われますし、もっと大げさというか、広げて言うと、俗に言う二元代表制の中でそれぞれ町民が自分で直接選んだ自分

たちの代表が何もできないのだというような、極論するとそういうふうにもつながってきますので、ちょっと話脱線するかもしれませんが、先ほど小寺さんが言った広報の件みたく、インターネットみたく、本来はやっぱりある程度行政側のほうで議会の意向なり意見というのをしんしゃくしながら、100%聞くということではないですけども、お互いに歩み寄りなりなんなりも含めて限られたことであっても取り上げてきていたというのが長い間、表でやっている分とまたそれ以外の分は実は昔は特に多かったのですけれども、そういうのがあったのです。ただ、今は確かに異常事態といえれば異常事態なことなので、それが当たり前ということではないと思います。だから、今回の意見箱、これから結論出ることかどうか私分かりませんが、やっぱり議会として何もどうせできないのだからという類いのことで賛否を決めてほしくないというのは私としての半分要望に近いような意見とさせていただきます。

阿部委員長 実施するというような形でまず進めていきたいと思います。中身については、やっぱりこれからもっともっと精査してという部分もありますので、当然今出た意見というのもまとめながら、できれば今年度中、実施できるようであれば実施していきたいと思いますので、そうなればまた広報広聴常任委員会で皆さんに集まっていたいてそういった部分協議していきたいと思いますので、よろしくお願いします。いいですか、それで。(はい。の声) 一応実施する方向で、中身についてはまた、今日もう時間も限られていますので、そちらのほうで今後やっていきたいと思いますので、お願いいたします。

1時間たちましたので、暫時休憩いたします。

(休憩 10:59~11:10)

阿部委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。  
先ほど(2)の議会意見箱の設置についてですが、実施するという方向で話になりました。実施時期については、来年の1月の末に議会だよりを発行する予定でいますので、そちらのほうに意見箱を設置することをお知らせして、それまでの間に設置場所であったり、意見用紙のほうを決めていきたい、考えていきたいと思いますので、それよろし

いですか。(はい。の声) それでは、1月の議会だより発行までに私のほうである程度まとめますので、まとめたものは委員の皆さんに見ていただくような形になると思いますので、よろしく願いいたします。

### (3) 議会による町民アンケートについて

阿部委員長 11:10～11:13

次に、(3)の議会による町民アンケートについて協議していきたいと思います。これについては、アンケート作成委託料(QRコード)が予算化されていますので、今年度中の町民アンケートの実施について協議したいと思います。予算額については、令和3年度予算として1万円、これは先ほど言いましたけれども、アンケート作成委託料という形でついております。下のほうに前回の町民アンケートということで①から⑥書いてありますが、これについては説明を省略をいたします。まず、町民アンケートについて予算ついていますので、アンケートを実施するしない、そちらについてまず協議していきたいと思いますので、お願いいたします。

—主な協議内容等(質疑)— 11:13～11:20

工藤委員 やっていく方法としては、去年やったのと同じような形になりますか。

阿部委員長 やり方としては、まだそちら、やるやらないもまだ決めていませんでしたので、何と答えていいのかあれなのですけれども、やり方としては昨年度やったようなのをベースに、アンケートの中身については別ですけれども、アンケートの配布なり回収というのはそういった形も一つ参考にしてやれるのかなとは思っています。

金木副委員長 まず、現時点では、今日の今時点の私の考えは、去年かなり大々的とは言えないけれども、一応全町的に島も含めてやったと、携帯での回答もいいですよという感じでやった、210人の回答があつて、A4にしたら30ページぐらいの回答も来ているのです。これをもし毎年やったとしても、新たな声も確かにあるだろうけれども、大方変わらないのではないかなと、1年の違いで。去年のやつ全部読めば、大体の流れとか大まかな町民の思いとかというのはそれとなく分かったなという気は私はして

いるのです。新たにまたやっても、焼尻めん羊がどうだこうだとか、そんな同じ項目を聞いてもまた同じではないのかなという気がして、去年やってまた今年もというふうなことの必要性はないかなと。4年に1回か4年に2回か、そんなペースであれば十分町民の方も答える機会があったなど、今期はそういえばアンケートやったなというような記憶になればいいのではないのかなということで、今日今の時点ではちょっとアンケートはいいのではないかなというのがあります。

阿部委員長

ほかはどうですか。個人的な意見、委員長ですけれども、金木副委員長おっしゃるように行政全般の部分というのは毎年ではなくてもいいのかなという思いは正直あります。ただ、ちょうど午後から議会・行政改革特別委員会の中で議員定数について本日協議するということになっていますけれども、議員定数について、これも留萌市議会だったのかなと思うのですけれども、たしかそれについてのアンケート調査というのをやっていたのかなとは思いますが。結構な頻度でやっていたのかなとは思っています。広報広聴でアンケートの中身というのは多分決めてはいない、前回は各常任委員会のほうからこういったことやるので、出してくださいということをお願いしていたので、中身的な部分は広報広聴では決められないのですけれども、ただ議員定数の部分で協議していく上で町民がどう思っているのかという部分も多少なりとも聞かなければならないことにもなるのかなとも思いますので、そういったのは自分としては必要なかなとは思っています。ただ、今言ったように広報広聴でということにはならないので、午後からある議会・行政改革特別委員会の中でそういった話が出れば、広報広聴常任委員会のほうとしても協力できる範囲で協力したいとは思っています。

以上です。

小寺委員

アンケートは、必要に応じてするというので、予算化はされていますけれども、それはそのときそのときで情勢も変わりますし、それは今年度もし使わなかったとしても来年度以降も一応そんなに大きな金額ではないので、のせてもし必要なときにすぐできるような予算としては必要だと思います。ただ、予算化されているから、どうしても今期中に使わなければいけないということではないと思うので、先ほど委員長おし

やられたように午後からの議会・行政改革のときにもそういうのが必要ということであれば、相談して予算を活用するということも一つあり得るかなというふうに思います。ただ、今年度中にもう一回大規模なことをするかというのは、今の時点ではちょっと考えられないかなというふうには思っています。

阿部委員長 今年度中のことなので、当然今後出てきたときにはそういったのを活用してということで、当然なければないで執行しなかったというだけの話になりますので、舟見委員、どうですか。

舟見委員 金木委員も小寺委員もおっしゃっていたように、僕も毎年する必要はないのではないかなというふうな感じがいたします。  
以上です。

阿部委員長 アンケート調査については、その都度その都度必要となればやるという形だったと思いますので、ここでまた同じようなことをやるやらないという部分ではありませんので、必要となればこういった予算がついていきますので、使いますということにしていきたい。議長のほうから何か。

森 議長 いや、皆さんの意見がそういうことでまとまっているなら、特にいいです。

阿部委員長 では、一応広報広聴常任委員会としては、そういったのはやるとなればまた協力していくということによろしいですか。(はい。の声)それでは、これで閉めたいと思います。ほかありませんか。(なし。の声)それでは、以上をもちまして広報広聴常任委員会を終了いたします。お疲れさまでした。